

PASSION  
FOR THE  
BEST

# テクニカル分析講座 Vol.3

## 一目均衡表その他のチャート・需給分析編

商号等

大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第108号

加入協会

日本証券業協会、社団法人日本投資顧問業協会

社団法人金融先物取引業協会

# 大和証券

Daiwa Securities

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗(支店担当者)経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.20750%(但し、最低2,625円)の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

当社と大和証券SMBC(株)とは、(株)大和証券グループ本社を親会社とする同一のグループ会社であり、かつ大和証券SMBC(株)は平成20年4月以降下記の銘柄に関する募集・売出し(普通社債を除く)にあたり主幹事会社となっております。

成学社(2179) リニカル(2183) ソーバル(2186) アスコット(3264) トリドール(3397) ザッパラス(3770) トライウォール(3957) 中央三井トラスト・ホールディングス(8309) オリックス(8591) T&Dホールディングス(8795) フロンティア不動産投資法人(8964) (銘柄コード順)

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第108号  
 加入協会 : 日本証券業協会、 社団法人日本投資顧問業協会、 社団法人金融先物取引業協会

# 目次

## 各種分析の手法

一目均衡表 .....	4
新値足 .....	14
需給分析(信用残) .....	18

## 「多機能チャート」を使った分析

一目均衡表 .....	20
信用残 .....	21

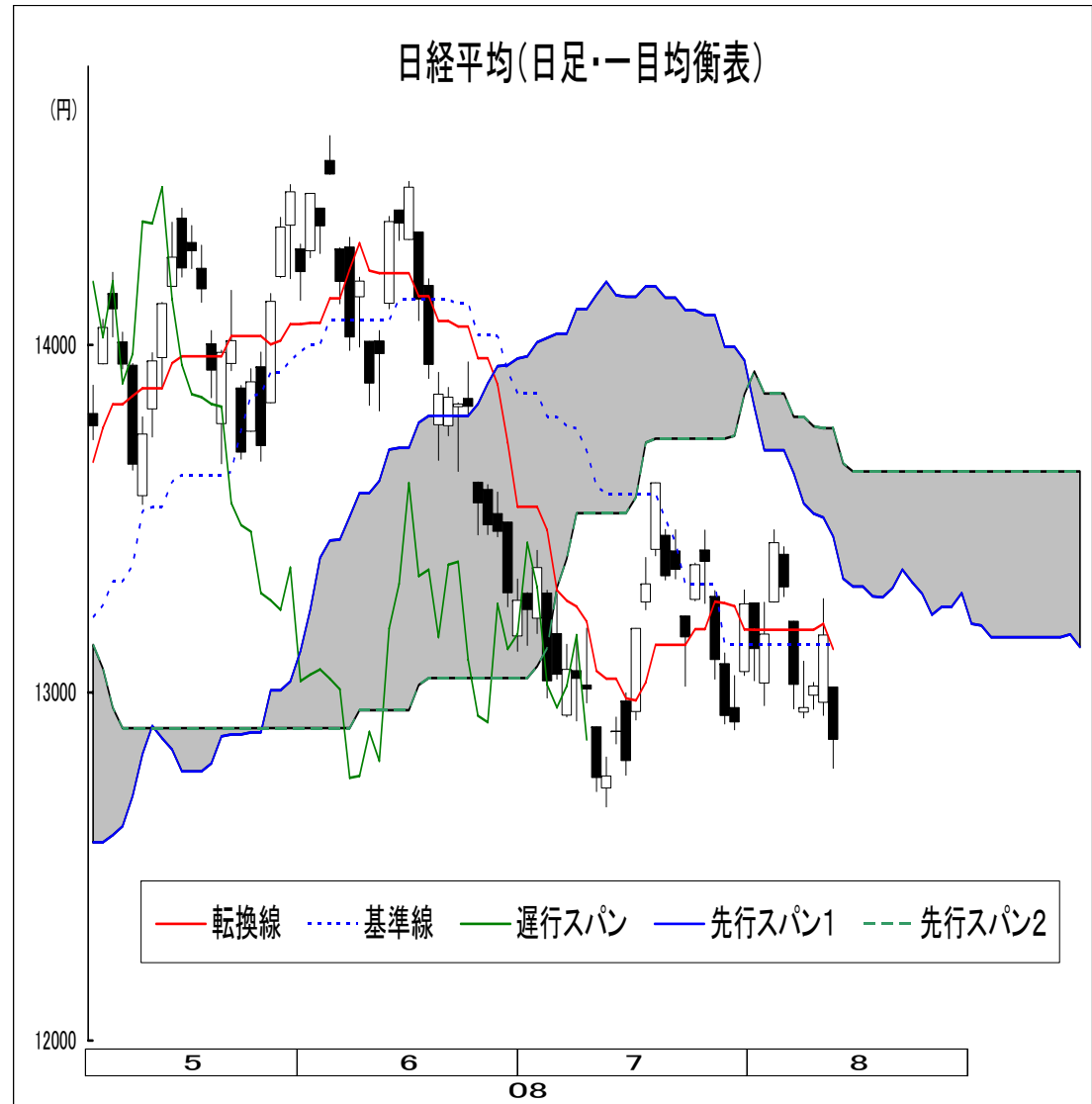
## 「スクリーニング」機能を使った銘柄選択

スクリーニング方法 .....	22
スクリーニング結果 .....	24

# 1. 一目均衡表

## (1) 一目均衡表とは

一目均衡表とは、転換線、基準線、先行スパン1、先行スパン2、遅行スパンといった一目均衡表独特の線に加え、「時間論」、「波動論」、「値幅観測論」の3つの柱を理解し、これらを組み合わせて分析する手法である。



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 1. 一目均衡表

## ① 一目均衡表の描き方

### 作成方法

転換線	描き方	当日を含む過去9日間の最高値と最安値の中間値を当日の転換値とし、日々結んでいく。
	式	転換値 = (9日間の最高値 + 9日間の最安値) ÷ 2
基準線	描き方	当日を含む過去26日間の最高値と最安値の中間値を当日の基準値とし、日々結んでいく。
	式	基準値 = (26日間の最高値 + 26日間の最安値) ÷ 2
先行スパン1	描き方	転換値と基準値の中間値を当日を含む26日先に記入し、日々結んでいく。
	式	先行スパン1値 = (転換値 + 基準値) ÷ 2
先行スパン2	描き方	当日を含む過去52日間の最高値と最安値の中間値を、当日を含む26日先に記入し、日々結んでいく。
	式	先行スパン2値 = (52日間の最高値 + 52日間の最安値) ÷ 2
遅行スパン	描き方	当日の終値を26日さかのぼった地点に記入し、日々結んでいく。
	式	遅行スパン = 当日終値 (26日前の地点に描画)

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 1. 一目均衡表

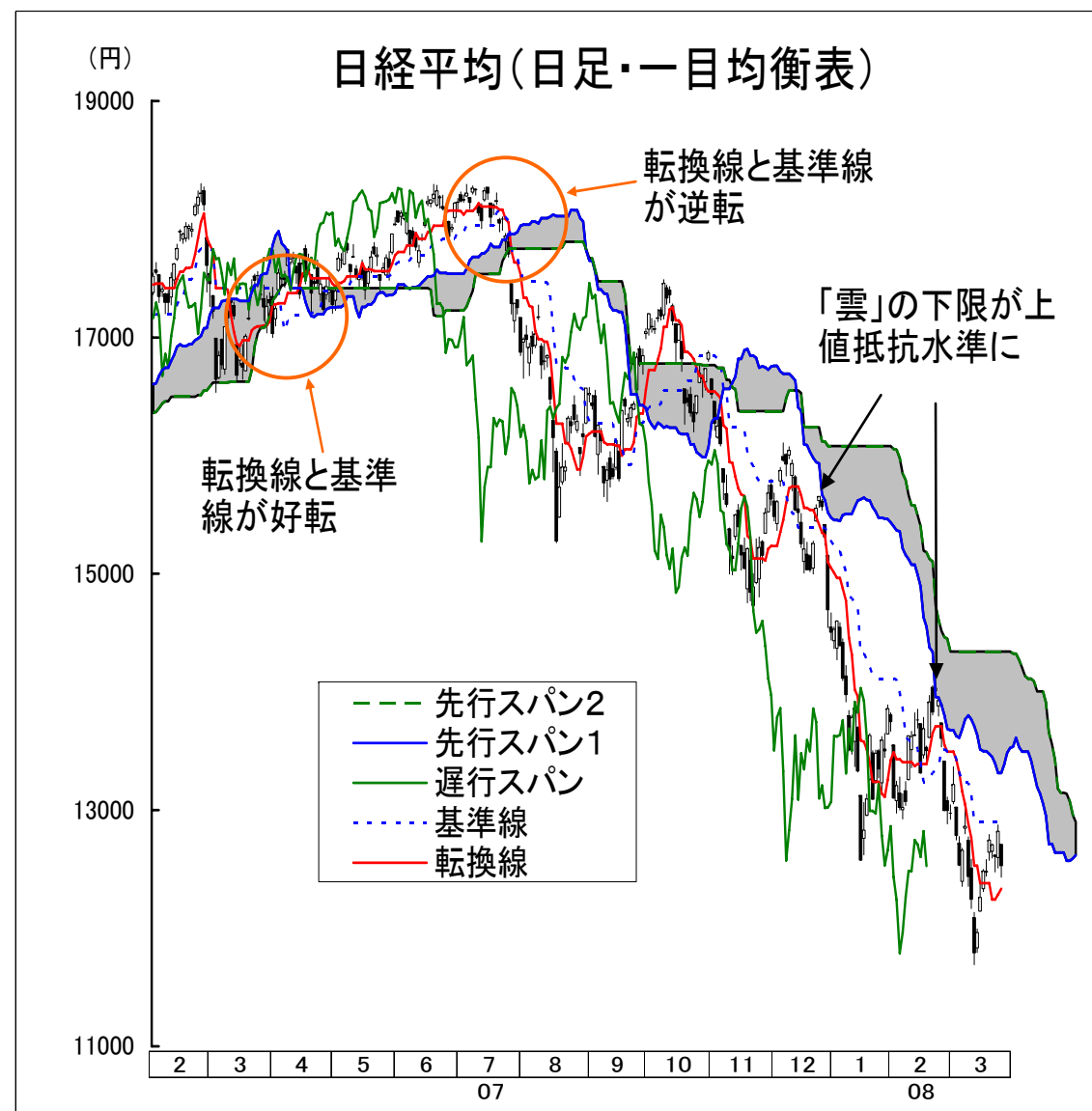
## ② 各線の見方

### イ) 転換線と基準線

転換線が基準線を下から上に抜けることを「好転」と呼び、強気シグナルとなる。また、転換線が基準線を上から下に抜けることを「逆転」と呼び、弱気シグナルとなる。

### ロ) 先行スパン1・2(雲)

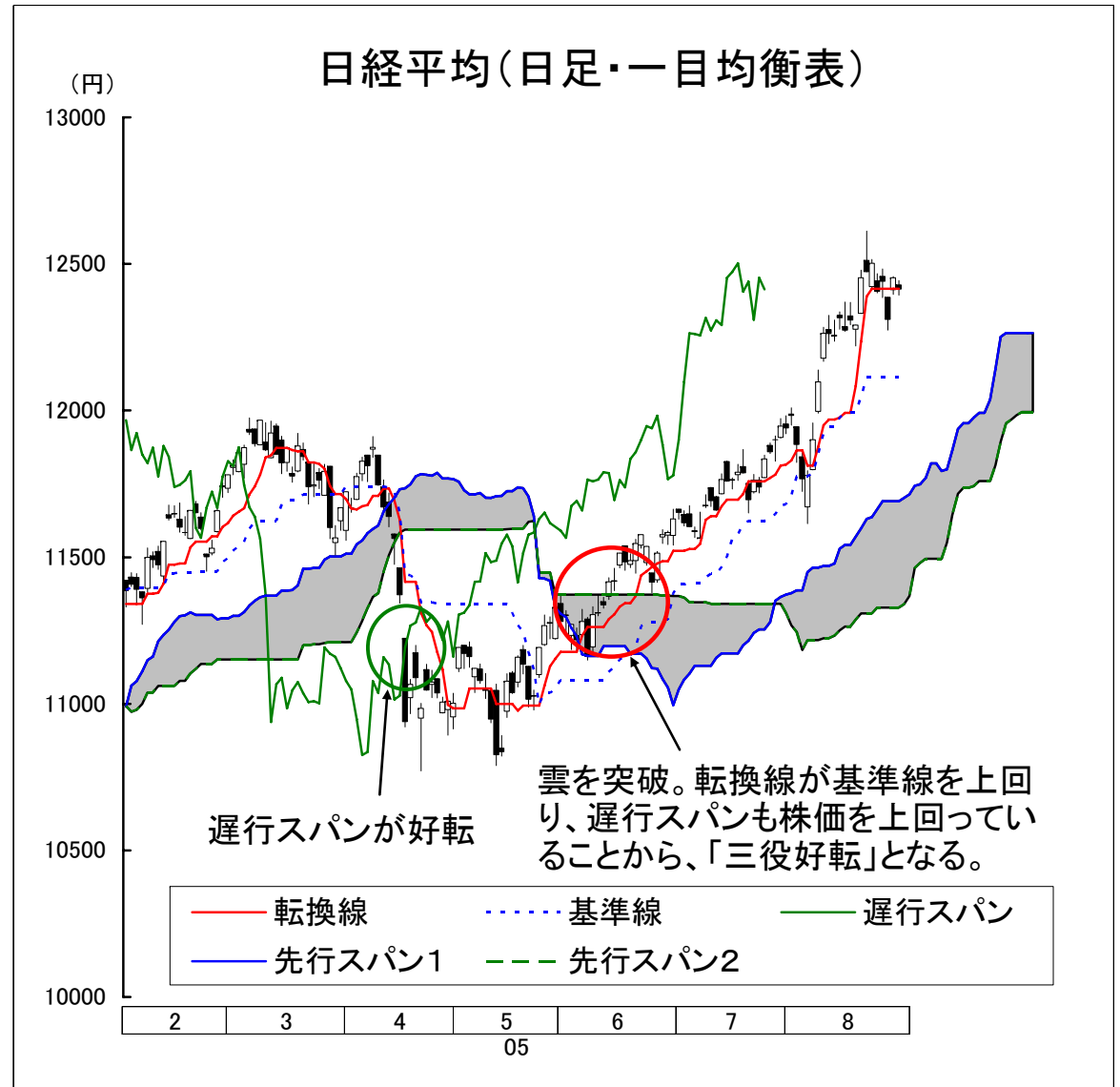
先行スパン1と先行スパン2に挟まれた価格帯は「雲」と呼ばれ、上値抵抗帯や下値支持帯になることが多い。



# 1. 一目均衡表

## ハ) 遅行スパン

遅行スパンが26日前の株価を下から上に抜けることを「好転」と呼び強気シグナルとなる。逆に遅行スパンが26日前の株価を上から下に抜けることを「逆転」と呼び、弱気シグナルとなる。



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## 1. 一目均衡表

### 二) 三役好転(逆転)

前頁イ、ロ、ハについて全て強気シグナルが出ている状態、つまり①転換線が基準線を上回っており、かつ、基準線が上向きであること、②株価が「雲」を上回っていること、③遅行スパンが26日前の株価を上回っていること、以上3つが揃っている事を「三役好転」と呼び、もっとも強い強気シグナルとなる。

一方、その逆で3つ全てにおいて弱気シグナルが出ているときは「三役逆転」と呼び、最も弱い状態と言える。

# 1. 一目均衡表

## (2) 時間論・波動論・値幅観測論

### ① 時間論

一目均衡表の世界では時間が重要視される。いつ目標値が達成されるのか、転換点はいつなのか、ということ予測するため、3つの単純基本数値と、それをもとに作られた10通りの基本数値が考案されている。



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## 1. 一目均衡表

### <基本数値>

基本数値	呼称	計算方法
9	一節	-
17	二節	-
26	一期(三節)	-
33	一期一節	$(17+17)-1$
42	一期二節	$(17+26)-1$
65		$(33+33)-1$
76	一巡(三期)	$(26+26+26)-2$
129		$(65+65)-1$
172		$(65+42+42+26)-3$
257		$(129+129)-1$

※算式の後のマイナスは重複している数を引いている

以上の基本数値の前後には、これまでの方向性に変化が出る可能性が高いと言われている。

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 1. 一目均衡表

## ② 波動論

株価の日々の値動きによる上げ下げを省略し、ピーク・ボトムを抽出し、それを結ぶことによって「波動」を認識する。

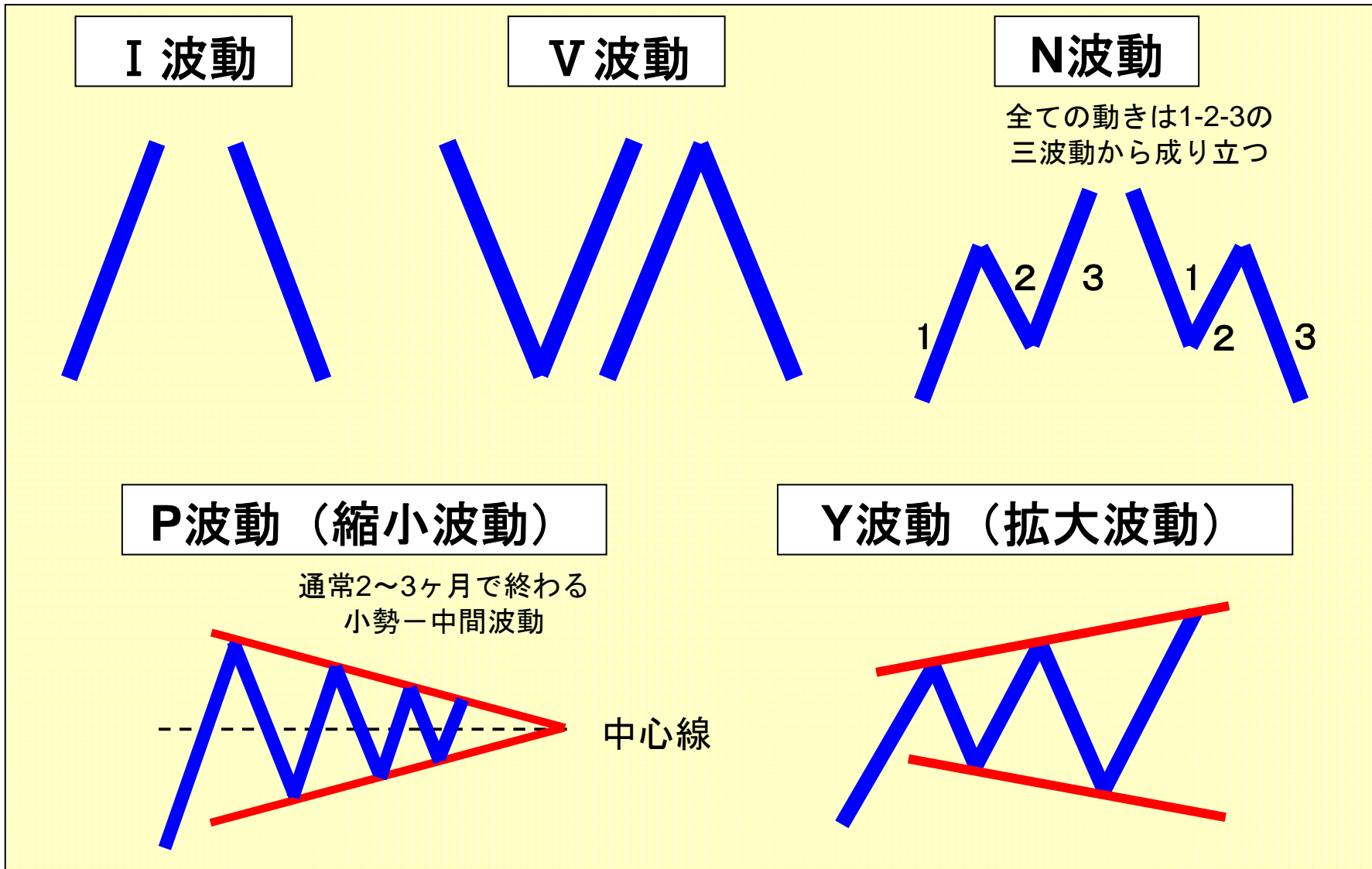
この「波動」によって、現在の相場が上げ相場なのか下げ相場なのかを判断することが重要となる。

なお、I波動とV波動は組み合わせて最終的にはN波動となる。また、P波動、Y波動は中間波動であり、どちらかに放れた後、最終的にN波動となる。



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 1. 一目均衡表

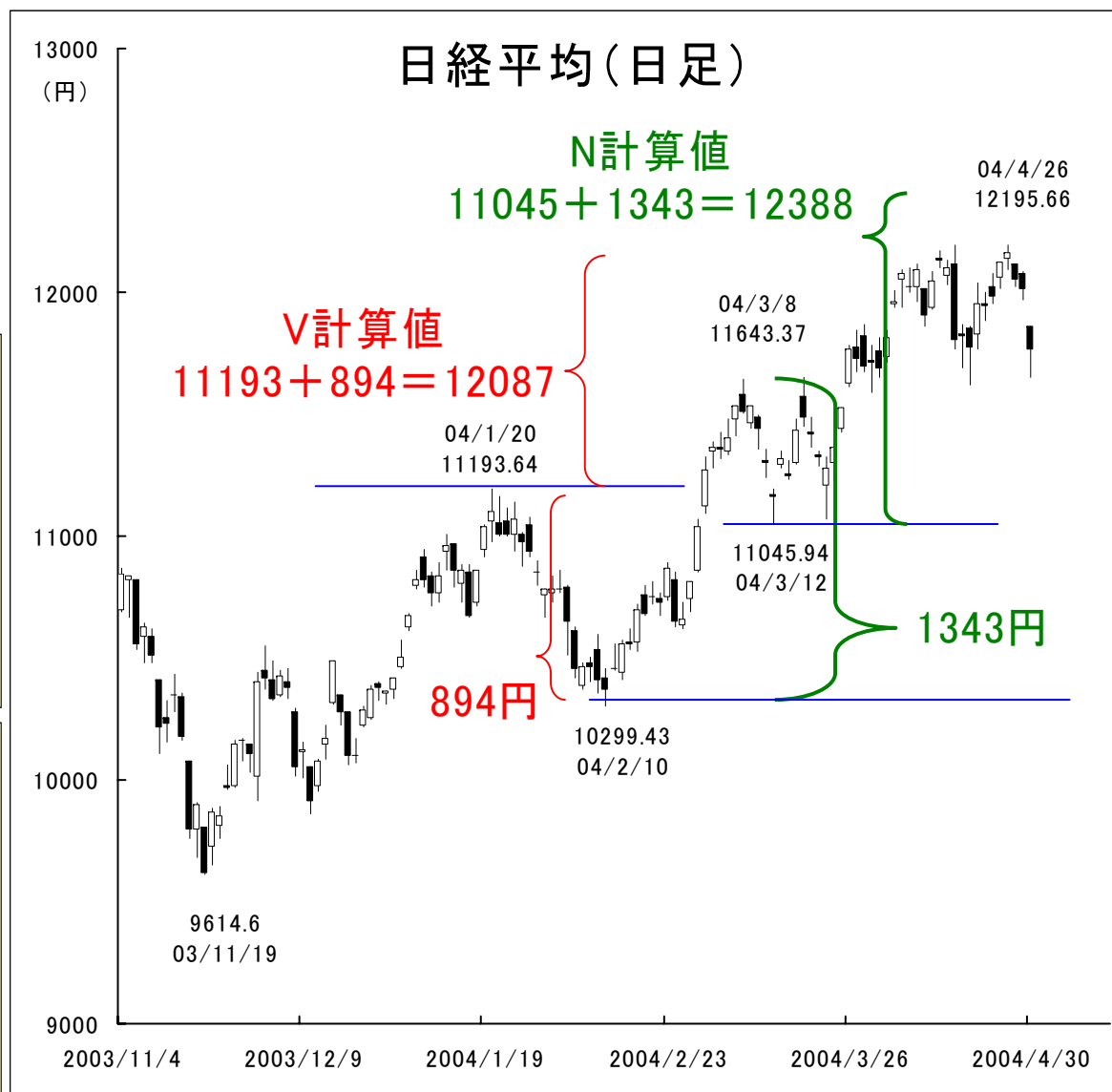
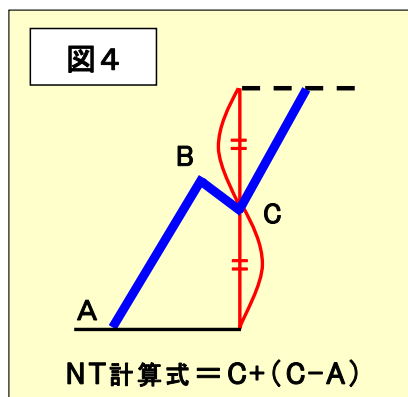
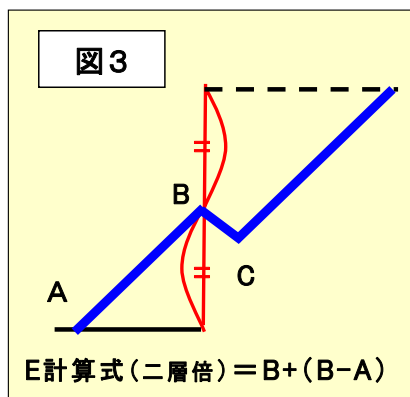
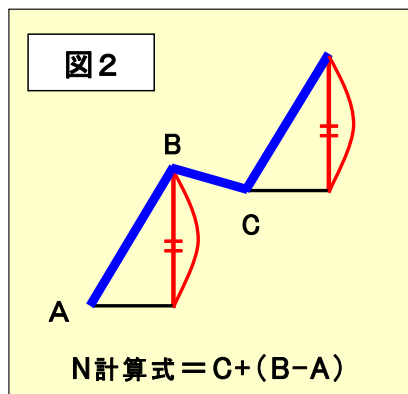
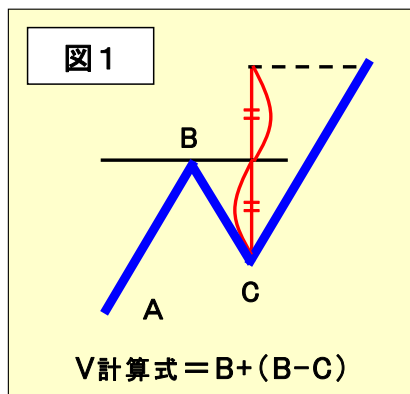


本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 1. 一目均衡表

## ③ 値幅観測論

上値メドや下値メドを探るための方法として値幅観測論がある。



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## 2. 新値足

### (1) 新値足とは

通常のローソク足は日々新たな足が更新される「時系列チャート」だが、新値足は株価にある一定の変化が起きた時にのみ足を追加していく「非時系列チャート」である。

株価の動きに一定の変化が出たときにのみ記入されるため、現在の株価の方向性やトレンドの変化を掴むのに有効である。

短期の分析に新値三本足(三線転換)、中期の分析に新値十本足(十線転換)を用いる。

## 2. 新値足

### (2) 作成方法

終値が高値を更新したときや、明確に逆方向に転換したときのみ記入する。1日目の1300円を起点として、その後、高値を更新するたびに陽線を記入する。直前の3本の罫線を割り込む調整となった場合に陰線が記入される(陰転と呼ぶ)。

陰転が売りシグナル、陽転が買いシグナルとなる。

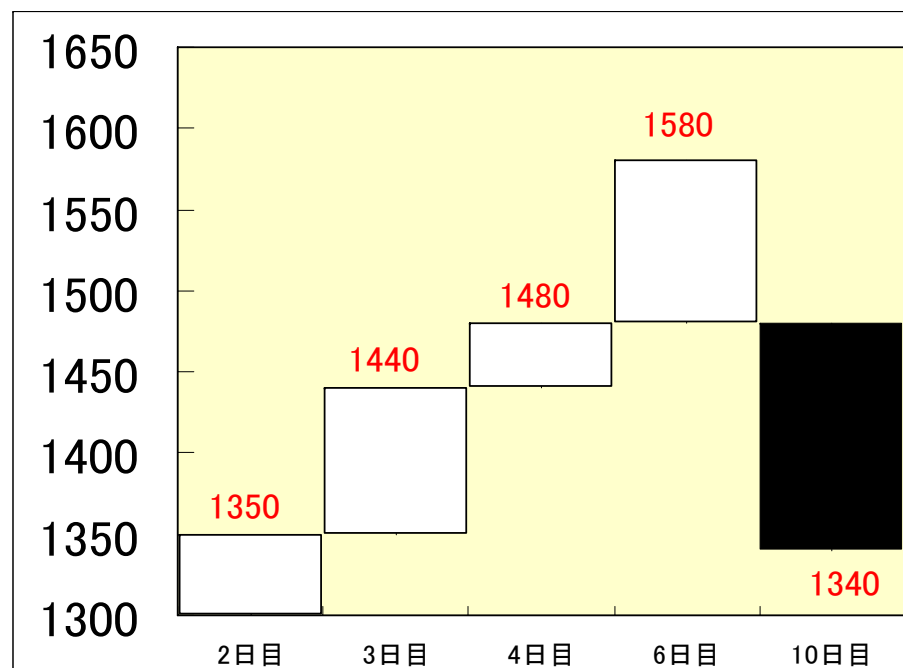
### <作成例>

(表1)の様に推移している株価の新値三本足は(図1)の様になる。

(表1)

	終値
1日目	1300
2日目	1350
3日目	1440
4日目	1480
5日目	1470
6日目	1580
7日目	1500
8日目	1550
9日目	1400
10日目	1340

(図1) ※赤字は更新時の株価で、実際には表示されない

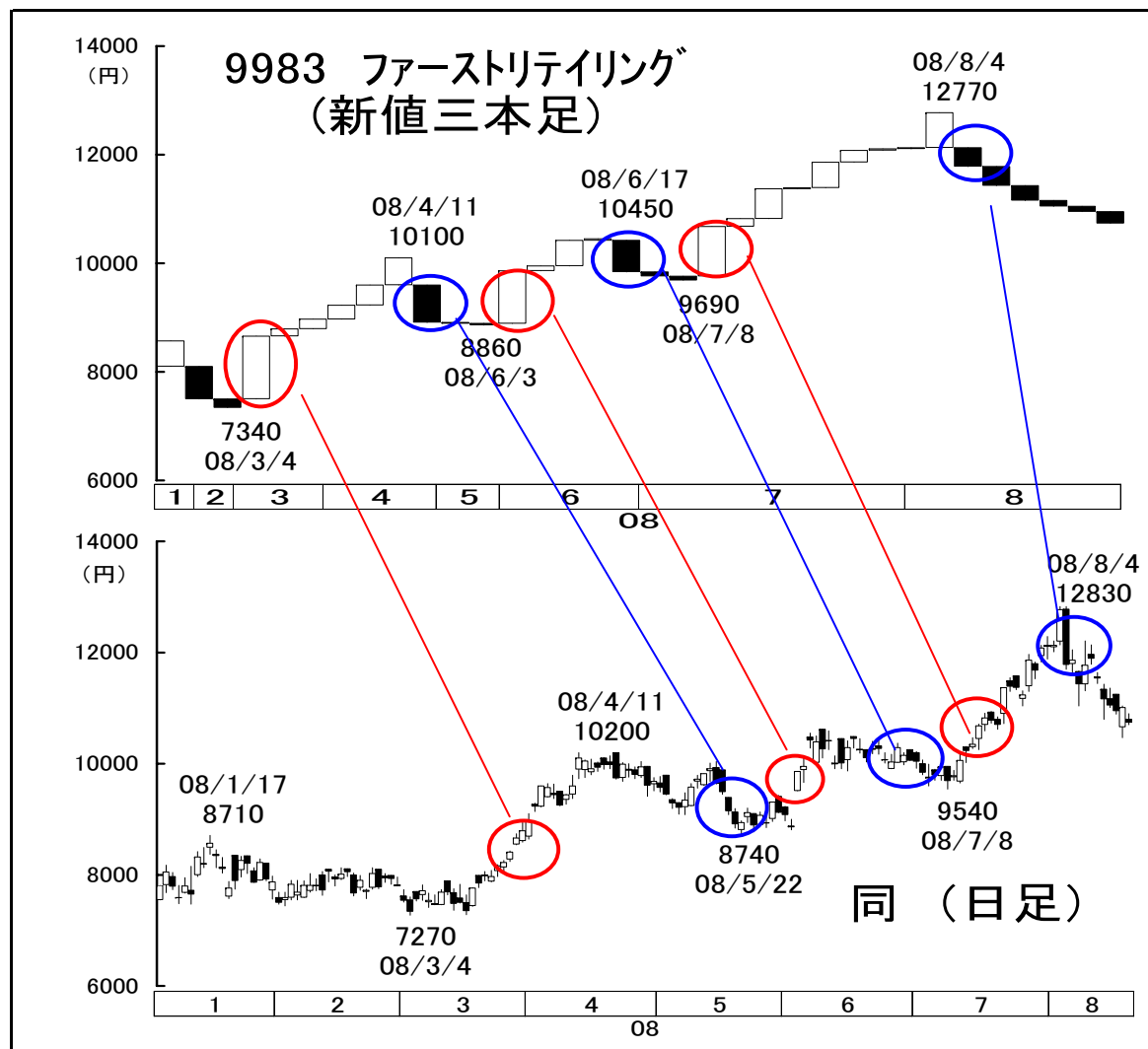


## 2. 新値足

### (3) 現実の株価推移と新値足

短期の分析を行う場合には新値三本足を用いる(図2)。一方、中期の分析を行う場合は新値十本足を用いる(次頁図3)。特に新値十本足は中期的なトレンド転換を示し、ダマシが少ない。

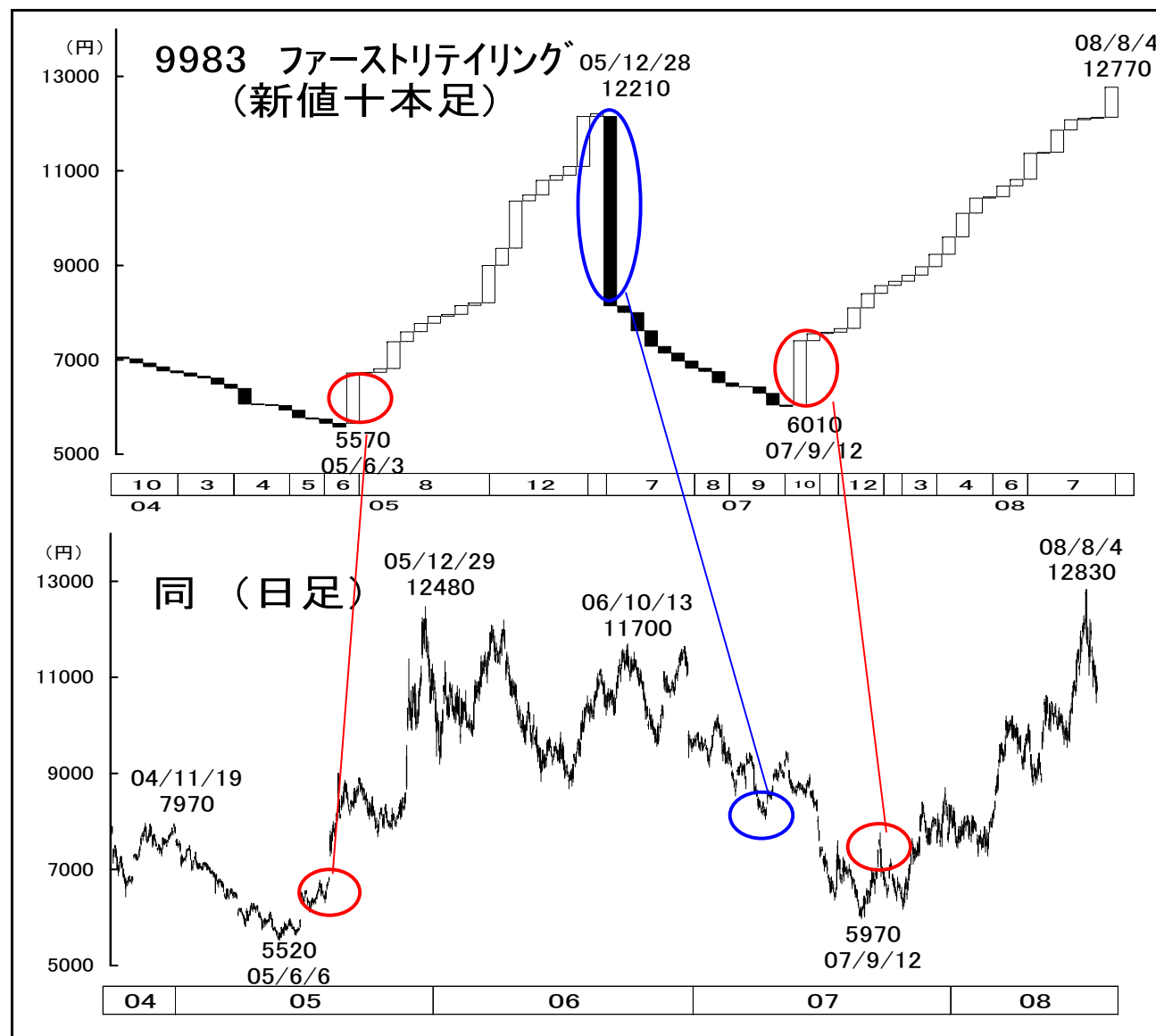
(図2) 新値三本足の例



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## 2. 新値足

(図3)  
新値十本足の例



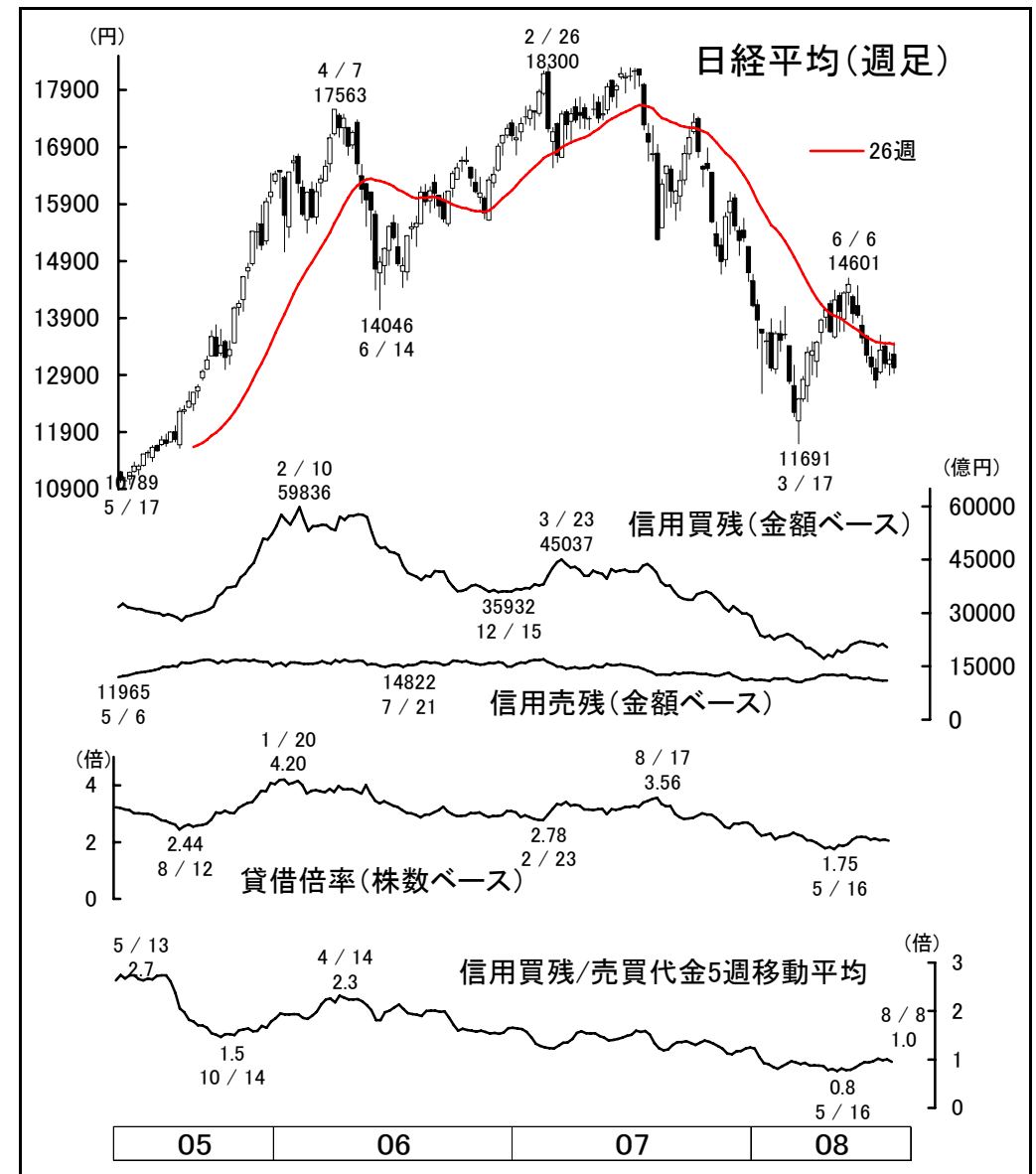
本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

### 3. 需給分析

#### 信用残

信用取引は証券会社から現金や株券を借りて行う証券売買で、通常6カ月の期日があり、期間内に決済する必要がある。

通常は反対売買により決済するため、買残が多い銘柄は将来の売り圧力があり、売残が多い銘柄は将来の買戻しが期待出来る。信用残を分析することで、将来の需給動向を予測することが出来る。



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

### 3. 需給分析

#### 貸借倍率

##### 【 計算式 】

$$\text{貸借倍率} = \text{買残} \div \text{売残}$$

#### <見方>

貸借倍率が高いということは、買残の水準が多いか売残の水準が少なく、将来の需給が悪いことを示している。一方、貸借倍率が低いということは、買残の水準が少ないか売残の水準が多く、将来の需給が良いことを示している。

ただし、信用残の水準が現在の出来高(売買代金)と比較して少なければ、需給に与える影響は小さい。現在の出来高(売買代金)も合わせて見ると、分析の精度が高まる。

# 「多機能チャート」を使った分析

## ～日経平均・一目均衡表～

指数: 日経平均 | TOPIX | 日経JASDAQ平均

画面が表示さ



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

# 「多機能チャート」を使った分析

## ～個別銘柄・信用残～



信用売残が信用買残を上回っている局面で、株価の上昇ピッチが加速

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

## (1) スクリーニング方法

- ① ログイン → 銘柄サーチ → スクリーニング
- ② スクリーニング画面で検索項目を選択する  
今回は、「信用倍率」、「時価総額」を選択

The screenshot shows a three-column list of financial metrics for screening. The first two columns are identical and contain various ratios and percentages. The third column contains the following items:

- 月間騰落率
- 時価総額
- 株価位置
- 株価移動平均
- 移動平均乖離率
- ゴールデンクロス
- デッドクロス
- 出来高移動平均倍率
- RSI(12日)
- %K(12日)
- %D(3日)
- %slowD(3日)
- 信用倍率
- 証金貸借倍率
- ボリュームレシオ(12日)
- 対日経平均ベータ値(180日)
- サイコロジカル(12日)

Callout boxes indicate the following actions:

- 「チェックを入れる」 (Check the boxes) - points to the checked '時価総額' and '信用倍率' checkboxes.
- 「選択項目を画面に表示」ボタンを押す (Click the button to display selected items on the screen) - points to the button at the bottom of the list.

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

### ③ 条件設定

国内株式  マーケット | 登録銘柄 | 残高/履歴 | 分析ツール | 口座情報 | サポート  
 個別株式 | 新規公開/公募売 | 株式ミニ投資 | ランキング | **銘柄サーチ** | 銘柄一覧 | ニュース

銘柄検索 **スクリーニング** | 株式トレンドマップ | テクニカルサーチ

検索条件登録:      
 カンタン検索:

スクリーニングの検索項目

銘柄条件

上場市場: 東証:  1部  2部  マザーズ | 名証:  1部  2部  セントレックス  
 大証:  1部  2部 | ジャスダック:  ヘラクレス:

投資金額:  円 ~  円

その他:  日経平均採用銘柄  貸借対象銘柄  株主優待実施銘柄

選択市場を条件に

検索項目	条件	最小値の目安	平均値の目安	最大値の目安
時価総額:	<input type="text" value="3000"/> ~ <input type="text"/> 億円	0.20	897.08	117,299.14
信用倍率:	<input type="text"/> ~ <input type="text" value="0.3"/> 倍	0.00	12.88	2,240.05

[\[検索項目の変更はこちら\]](#)

銘柄コード  を  降順  昇順 で表示

(i) 市場等を選択

(ii) 数値入力

(iii) 「検索」ボタンを押す

# 「スクリーニング」機能を使った銘柄選択

## ～信用倍率～

### (2) スクリーニング結果

検索結果 [検索条件画面に戻る]

業種を絞り込む:  結果: 71件 信用倍率: 昇順

株価データ: 2009年4月6日終値

	コード	銘柄名	市場	業種	株価 (円)	時価 総額 (億円)	信用倍率 (倍)
1	4528	小野薬	東1	医薬品	4,210	4,577.93	0.00
2	9007	小田急	東1	陸運業	791	5,763.60	0.01
3	5901	洋缶	東1	金属製品	1,630	3,356.02	0.02
4	6806	ヒロセ電	東1	電気機器	10,160	3,728.26	0.02
5	8385	伊予銀	東1	銀行業	975	3,112.47	0.02
6	9008	京王	東1	陸運業	566	3,459.70	0.02
7	9041	近鉄	東1	陸運業	401	6,810.36	0.02
8	9001	東武	東1	陸運業	503	4,305.88	0.04
9	5012	東燃ゼネ	東1	石油・石炭製品	993	5,608.99	0.05
10	6201	豊田織	東1	輸送用機器	2,400	7,477.92	0.05
11	8754	日本興亜	東1	保険業	557	4,190.47	0.05
12	9507	四国電力	東1	電気・ガス業	2,655	6,050.48	0.05
13	4506	大日住薬	東1	医薬品	787	3,126.99	0.06
14	9505	北陸電力	東1	電気・ガス業	2,285	4,888.55	0.06
15	6981	村田製	東1	電気機器	3,850	8,262.86	0.07
16	8333	常陽銀	東1	銀行業	458	3,564.30	0.07
17	9202	A N A	東1	空運業	369	7,178.50	0.07
18	8355	静岡銀	東1	銀行業	897	6,261.01	0.08
19	4324	電通	東1	サービス業	1,612	4,001.37	0.09
20	9042	阪急阪神	東1	陸運業	447	5,640.27	0.09

矢印をクリックすると、  
信用倍率で昇順  
並べ替えが可能

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。